

環 境 経 営 レ ポ ー ト

取組期間：2024年2月～2025年1月



発行日 2025年 4月 18日

株式会社 徳川電工

□ 組織の概要

【事業所名】 株式会社 徳川電工

【代表者氏名】 代表取締役

【所在地：事務所】 〒770-0823 徳島県徳島市出来島本町3丁目28番地5

【所在地：倉庫】 〒770-0823 徳島県徳島市出来島本町4丁目11番地

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者 取締役専務

連絡先担当者 事務

連絡先 TEL : 088-622-1613

FAX : 088-623-5957

E-mail : office@tokugawa-denko.co.jp

【事業活動の内容】 電気工事業、電気通信工事業、消防施設工事業

・建設業許可①

許可番号 徳島県知事許可 (特-04) 第3538号

許可年月日 令和5年 3月25日

建設業の種類 電気工事業

・建設業許可②

許可番号 徳島県知事許可 (般-04) 第3538号

許可年月日 令和5年 3月25日

建設業の種類 電気通信工事業・消防施設工事業

・産業廃棄物収集運搬業許可（自社分のみ）

許可番号 徳島県知事許可 3600189702

許可年月日 令和3年6月24日

【事業規模】 設立年月日 1976年11月17日

資本金 2000万円

売上高 29000万円

事業年度 2月～1月

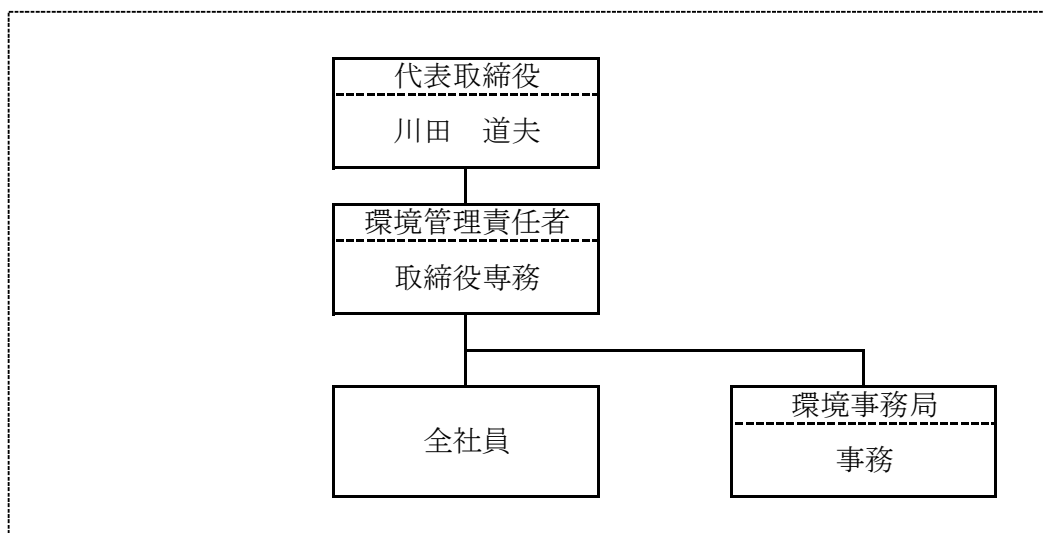
従業員数 7名

事業所敷地面積 144㎡

倉庫敷地面積 66㎡

【対象範囲】 全組織・全活動

株式会社 徳川電工 環境管理体制



	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示を実施 ・環境経営レポートを確認し、承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境への負荷の自己チェック及び、環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加



株式会社 徳川電工

環境経営方針

基本理念

株式会社徳川電工は、電気・空調設備の設計・施工を営む企業として、安心・快適・豊かな生活環境をつくる経営理念のもとに、環境負荷の低減と環境汚染の予防に努め、人と自然と技術の調和をめざし、環境経営の継続的改善を目指します。

基本方針

1，以下の項目を重点管理テーマとして取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物の削減および発生抑制
- ③水使用量の削減
- ④高所作業車・重機械および社用車におけるエコドライブの徹底
- ⑤電設・建設資材における省資源、廃棄物の分別の推進
- ⑥顧客に対して省資源・省エネルギー環境に配慮した製品の提案

2，環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3，環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。

制定日 平成 25年 5月 1日
改定日 令和 4年 2月 1日（第2回）

株式会社 徳川電工

代表取締役 川田 道夫

□ 環境経営目標の達成状況及びその評価結果

主な環境目標とその実績は次の通りです。

環境経営目標（中長期）

		2019年～21年 3年間の 平均値	2022年度 (2022年2月～ 2023年1月)	2023年度 (2023年2月～ 2024年1月)	2024年度 (2024年2月～ 2025年1月)
項目	単位/評価項目	(基準値)	(目標)	(目標)	(目標)
CO ₂ 排出量の削減	総量 (kg-CO ₂) / 年	17635.3	17458.9	17282.5	17106.2
CO ₂ 内訳	電力	kWh/年	10946.0	10836.5	10727.1
	ガソリン	ℓ/年	4531.9	4486.6	4441.3
	軽油	ℓ/年	324.9	321.7	318.4
廃棄物排出量	総量 (t/年)	14.290	14.147	14.004	13.861
	一般廃棄物	総量 (t/年)	0.1787	0.177	0.175
	産業廃棄物	総量 (t/年)	14.111	13.970	13.829
水使用量	m ³ /年	69.700	69.003	68.306	67.609
重機械エコドライブ	軽油使用量	324.9	321.7	318.4	315.2
社用車エコドライブ	ガソリン使用量	4531.9	4486.6	4441.3	4395.9
環境に配慮した製品の提案	提案件数	4	5	5	5

※購入電力排出係数は0.574kg - CO₂を使用

環境経営目標（単年度）

		2019年～21年 3年間の平均値	2024年度 (2024年2月～2025年1月)			
項目	単位/評価項目	(基準値)	(目標)	(実績)	(達成率)	(結果)
CO ₂ 排出量の削減	総量 (kg-CO ₂) / 年	17635.3	17106.2	15722.5	108.8	○
CO ₂ 内訳	電力	kWh/年	10946.0	10617.6	12436.0	85.4
	ガソリン	ℓ/年	4531.9	4395.9	3309.0	132.8
	軽油	ℓ/年	324.9	315.2	351.7	89.6
廃棄物排出量	総量 (t/年)	14.290	13.861	6.385	217.1	○
	一般廃棄物	総量 (t/年)	0.1787	0.173	0.1490	116.3
	産業廃棄物	総量 (t/年)	14.111	13.688	6.236	219.5
水使用量	m ³ /年	69.700	67.609	76.0	89.0	×
重機械エコドライブ	軽油使用量	324.9	315.2	351.7	89.6	×
社用車エコドライブ	ガソリン使用量	4531.9	4395.9	3309.0	132.8	○
環境に配慮した製品の提案	提案件数	4	5	3	60	×

※購入電力排出係数は0.574kg - CO₂を使用

※結果 ○達成率が100%以上 ×達成率が100%以下

□ 主要な環境経営計画の内容と評価

環境経営目標		具体的な取り組み内容	責任者	期間(令和6年2月～令和7年1月)												評価
				2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
①CO2 排出量 削減	電気	1) 不在時消灯・未使用時PC電源OFF	代表 取締役	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
		2) エアコン温度設定夏場28℃冬場20℃		⇒	⇒				⇒	⇒	⇒			⇒	⇒	○
		3) エアコンフィルターの清掃		⇒	⇒				⇒	⇒	⇒			⇒	⇒	○
				○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	
	ガソリン 軽油	1) アイドリングストップ	取締役専 務	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
		2) エコドライブの推進(加減速の少ない運転)		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
		3) 一定速度の運転		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
②廃棄 物排出 量削減	産業 廃棄物	1) 現場での分別排出・選別の徹底	取締役専 務	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	一般 廃棄物	1) 事務所における紙ごみの削減		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	◎
		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
③水使用量の削減		1) 節水シールの貼り付け	代表 取締役	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
④重機械・社用車におけるエコドライブの推進		1) アイドリングストップ 2) エコドライブの推進(加減速の少ない運転)	取締役専 務	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑤電設・建設資材における省資源、廃棄物分別の促進		1) できるだけ無駄を省き、廃棄物を種類毎に分別する	取締役専 務	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑥環境に配慮した製品の提案		1) 補助金事業の提案	代表 取締役	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	◎
				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

※評価 ◎十分できている ○ほぼできている △まだ不十分 ×できていない

□ 環境経営計画の取り組み結果の評価及び今後の進め方

①CO2排出量削減

【電気】

評価

猛暑日や真冬日などが多く、エアコンの使用頻度が多かった為、目標達成できませんでした。外出時・昼休みの消灯、OA機器の夜間の電源OFF等の取り組みはきちんとできている。

次年度への取組

引き続きこれまでの取組を継続し、目標達成に努めたい。



【ガソリン・軽油】

評価

エコドライブの徹底や遠方の現場が少なかった為ガソリンの使用量が減りました。軽油に関しては高所作業車の使用頻度が多かった為使用量が増えました。

次年度への取組

より一層エコドライブや空気圧チェック等をこまめにするように心がけ、これまでの取組を継続する。



②廃棄物排出量削減

評価

目標は達成できました。

次年度への取組

これまでの取組を継続し、目標達成に努めたい。印刷ミスを減らすようプレビューを徹底し、印刷を極力減らすためにPDFデータなどで閲覧するようさらに徹底する。

③水使用量の削減

評価

事務所内の仕事が増加した為、水使用量は目標を達成できませんでした。トイレを節水型に更新したので次年度は目標達成に期待したい。

次年度への取組

これまでの取組を徹底し節水を心がけ、目標達成に努めたい。



トイレなどにラベルを掲示

④重機械・社用車におけるエコドライブの推進

①CO2排出量削減の【ガソリン・軽油】と同じ。

⑤電設・建設資材における省資源、廃棄物分別の促進

評価

段ボールや古紙などを古紙業者に持ち込むことが習慣ついてきました。分別作業を徹底して再資源化につなげたい。

次年度への取組

これまでの取組を継続する。

⑥環境に配慮した製品の提案

評価

環境に配慮した補助金提案2件、環境に配慮した製品提案を1件し、うち2件工事を行いました。

次年度への取組

今後も省資源・省エネルギー環境に配慮した製品を顧客に提案していきたい。



工事現場周辺の清掃活動

□ 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標 (中長期)

		2024年度実績 (2024年2月～ 2025年1月)	2025年度 (2025年2月～ 2026年1月)	2026年度 (2026年2月～ 2027年1月)	2027年度 (2026年3月～ 2027年2月)	
項目	単位/評価項目	(基準値)	(目標)	(目標)	(目標)	
CO ₂ 排出量の削減		総量 (kg-CO ₂) / 年	14230.2	14087.9	13945.6	13803.3
CO ₂ 内 訳	電 力	kWh/年	12436.0	12311.6	12187.3	12062.9
	ガソリン	ℓ/年	3309.0	3275.9	3242.8	3209.7
	軽 油	ℓ/年	351.7	348.2	344.7	341.1
廃棄物排出量		総量 (t/年)	6385.000	6321.150	6257.300	6193.450
	一般廃棄物	総量 (t/年)	0.1490	0.1475	0.1460	0.1445
	産業廃棄物	総量 (t/年)	6.236	6.174	6.111	6.049
水使用量		m ³ /年	76.000	75.240	74.480	73.720
重機械エコドライブ		軽油使用量	351.7	348.2	344.7	341.1
社用車エコドライブ		ガソリン使用量	3309.0	3275.9	3242.8	3209.7
環境に配慮した製品の提案		提案件数	3	4	4	4

※購入電力排出係数は0.454kg - CO₂を使用

環境経営計画

環境経営目標		具体的な取り組み内容	責任者
①CO ₂ 排出量削減	電気	1) 不在時消灯・未使用時PC電源OFF 2) エアコン温度設定夏場28℃冬場20℃ 3) エアコンフィルターの清掃	代表取締役
	ガソリン 軽油	1) アイドリングストップ 2) エコドライブの推進(加減速の少ない運転) 3) 一定速度の運転	取締役専務
②廃棄物排出量削減	産業廃棄物	1) 現場での分別排出・選別の徹底	取締役専務
	一般廃棄物	1) 事務所における紙ごみの削減	
③水使用量の削減		1) 節水シールの貼り付け	代表取締役
④重機械・社用車におけるエコドライブの推進		1) アイドリングストップ 2) エコドライブの推進(加減速の少ない運転)	取締役専務
⑤電設・建設資材における省資源、廃棄物分別の促進		1) できるだけ無駄を省き、廃棄物を種類毎に分別する	取締役専務
⑥環境に配慮した製品の提案		1) 補助金事業の提案	代表取締役

□ 環境関連法規等の遵守チェックの確認及び違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制の遵守状況

法令及び条例	遵守事項	遵守チェック 2025年2月28日
廃棄物処理法	産業廃棄物を排出する際 ・委託基準（委託先の許可確認・中間処理場の現地確認等）確認 ・委託契約の締結 ・契約書の5年間保存 ・マニフェストの交付と5年間の保管 ・前年度マニフェスト交付実績を次年度6月末までに報告	○
	廃棄物を現場保管する場合 ・野外焼却の禁止 ・積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生 ・保管場所の掲示板設置 ・下請で行う現場内保管も保管基準を適用順守	○
建設リサイクル法	500万円以上の土木工事等・80㎡以上の解体工事の際 ・発注者への書面による計画等説明 ・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出 ・発注者へ書面による完了報告 ・下請負者への告知書 ・分別解体等 ・再資源化等の促進 ・再生資源の使用	○
騒音規制法	指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事を施工する際 ・市町村へ事前確認 ・市町村へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	○
振動規制法	指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事を施工する際 ・市町村へ事前確認 ・市町村へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	○
大気汚染防止法	・解体等工事受注者は、石綿使用の有無について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに、その結果等を解体等工事現場へ掲示 ・建築物石綿含有建材調査者講習を修了した者が事前調査を行う。	○
フロン排出抑制法	空調機器の所有について ・簡易点検の実施（四半期に1回以上）と点検記録の保存 ・漏えいを発見した場合、速やかな修理の実施 ・機器を廃棄する場合、第1種フロン類充填回収業者に依頼	○
家電リサイクル法	事務所のエアコンを廃棄する場合 ・小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き取り依頼する	○
グリーン購入法	・物品を購入する際環境を考慮し、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選ぶ	○
オフロード法	建設機械を所有・使用する際 ・基準適合表示のある建設機械を使用 ・平成18年4月施行前に製作された建設機械は販売証明	○
徳島県生活環境保全条例	指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事を施工する際 ・開始の日の七日前までに知事に届け出	○
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	・省エネ等による脱炭素型のビジネススタイルへの転換 ・二酸化炭素排出量の少ない製品の販売及びサービス提供の推進	○
下水道法	・公共下水道管理者にあらかじめ届出	○

過去3年間、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

□ 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

2025年 3月 14日 代表取締役

見直しに必要な情報		代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案		変更の必要性の有無・指示事項	
【取り組み状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 2025年2月28日にチェック済 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 特になし ③前回までの代表者の指示事項への対応 特になし <改善への提案> 教育の徹底 【目標・環境活動計画の達成状況】 ①環境目標について 達成・・・ガソリン、廃棄物排出量の削減 未達成・・・電力 軽油 水使用量 環境に配慮した製品の提案 ②環境経営活動計画について 計画した活動は、概ね実施できた。 ③項目追加 特になし		【環境経営方針】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 このまま継続。	
		【環境経営目標・環境経営計画】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 このまま継続。	
		【実施体制】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
【周囲の変化の状況】 特になし		【総括】 （環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） 2024年度エコアクション21の取組について、電気使用量・軽油・水使用量は目標達成できませんでした。しかし、全社員の環境に対する意識が向上し、目標達成の為に活動計画を継続的に実施してくれています。これからも社員一人一人が安全、現場作業効率、段取り、現場衛生管理、品質確保のための技術力向上に力を入れ、環境活動を継続していきます。	
代表者が自ら得た情報			
特になし			